

課題	達成目標	No	活動施策	関連委員会等	活動指標	目標値	実績および評価・改善項目	到達率(%)	全体会評価欄	監事評価欄
(1) TJUP組織の発展・強化	■TJUP組織の発展・強化を図る ■TJUP組織の認知度を向上させる	(1)－1	TJUP会員（大学・自治体・企業等）の共通課題の検討	幹事会、各委員会、グループ・チーム等	運営協議会等における審議回数	年2回以上審議	2024年度第1回共同IR調査「「参加大学全体の入学者数 5%向上」（アウトカム指標（2）-2）、「参加大学全体の外国人留学生の入学者数 5%向上」（アウトカム指標（2）-3）、「及び「活性化対象地域、埼玉県に事業所等がある企業、自治体等への就職率 10%増加」（アウトカム指標（4）-3、(4)-4）について」を実施し、達成状況の分析により地域の課題検討を行った（第62回運営協議会）。併せてその調査結果をもとに共同IR検討会（第65回運営協議会）（2025/3/26）を開催し、TJUP会員間で調査結果の共有、意見交換をはじめ教育改善につながる取り組みや地域の課題解決を改めて会員全員で考える機会とした。また、2025年度第1回共同IR調査を進めている（第71回運営協議会）。 以上により、運営協議会での審議回数は3回となった。	100%	100%	全体会評価が(妥当)・妥当でない(%) 【意見】 共同IR検討会および教育連携懇談会において、会員の共通課題の検討を行ったことは、組織の発展・強化に寄与するという意味で評価できる。一方、大学と自治体、企業等との連携体制整備・強化については、教育連携委員会・地域交流委員会以外の委員会における自治体・企業等からの参加が課題としてあげられる。昨期と比較し、自治体広報誌、マスメディア等への掲載が16回から23回に、人事交流の企画又は実施が1件から6件に増えたことは、認知度の向上および組織の発展・強化への取り組みが着実に進んでいることを表している。さらなる発展を期待したい。
		(1)－2	事業内容の検討	幹事会、各委員会、グループ・チーム等	運営協議会等における審議回数	年2回以上審議	2024年度の事業計画に基づき事業を実施した。また、中長期計画および第6期活動指標評価・第7期活動指標をもとに、2025年度の事業内容を検討し、事業計画を策定し決定した（第66回・67回運営協議会、第12回全体会）。あわせて、会員校、自治体会員、事業者等会員の連携による様々な共同事業が企画および運営された。 以上により、運営協議会等における審議回数は3回となった。	100%	100%	
		(1)－3	中長期計画のPDCAサイクルの実施	幹事会、各委員会、グループ・チーム等	運営協議会等における審議回数	年2回以上審議	第63回幹事会(2024/10/17)において、委員会等より提出された活動評価シートをもとに、第6期活動状況の自己点検を行った。第11回全体会(2024/10/25)において、中長期計画に基づく第6期活動指標評価の一次評価を行った。第63回運営協議会(2024/11/29)において監事による第二次評価の報告、説明を受け、実績および改善項目の整理により第7期活動指標につなげている。第7期の活動評価は第13回全体会(2025/10/24)の一次評価に向けて現在自己点検を行っている。なお、第73回運営協議会(2025/9/19)にて中長期計画の更新および第8期活動指標を決定した。 以上により、運営協議会等での審議回数は2回、報告は1回となった。	100%	100%	
		(1)－4	大学と自治体、企業等との連携体制整備・強化	幹事会、各委員会、グループ・チーム	全体会、運営協議会、幹事会・委員会等への自治体・企業等からの参加回数	TJUP全体、各委員会にそれぞれ年1回以上	【教育連携委員会】TJUP教育連携懇談会「TJUP教育連携フォーラム2025」（2025/7/29）を開催し、自治体会員・事業者等会員と活性化対象地域の課題について意見交換・情報交換を行った。参加自治体、企業は、川島町教育委員会、坂戸市教育委員会、鶴ヶ島市教育委員会、鳩山町教育委員会、東松山市教育委員会、東松山市立新明小学校、日高市、毛呂山町教育委員会、吉見町教育委員会、一財）リモート・センシング技術センター衛星観測事業部、埼玉県川越比企地域振興センター東松山事務所、まなびしごとLAB。第一部で研修会「小・中学校における「やさしい日本語」講習」を、第二部で懇談会「TJUPに期待する小・中学校への教育支援」をそれぞれ実施した。 【地域交流委員会】第51回地域交流委員会（2024/11/12）にて、公開講座『毎日楽しく介護予防Part.4～筋トレ・ロトレ・脳トレのススメ～』（2024/9/28）を共同実施した自治体と振り返りを行った。 以上により、2会議の実施となった。今後、更なる連携強化のため委員会等の体制の見直しを検討する必要がある。 【ツナグちゃんチーム】 チーム打合せ(2025/5/7、2025/7/2、2025/7/26)を城西大学、日本医療科学大学、入間市、所沢市、株式会社セキ薬品で行い、今後の進め方やツナグちゃんの活用について検討した。今後も本チームを大学、自治体、事業者等が連携しながら運営する予定である。また、「元氣出してよミニライブ」に関する打合せ（2025/7/10）を城西大学、日本医療科学大学、所沢市、イオンタウンふじみ野、株式会社セキ薬品で行い当日の進行や分担を確認した。	50%	50%	
		(1)－5	大学と自治体、企業等が連携したTJUPの認知度の向上	HP・SNS・広報誌グループ、報告会検討チーム、各種委員会等	自治体広報誌、マスメディア等への掲載回数	年3回以上	【教育連携委員会】・「社会人対象教育プログラム2025」について、2025/6/6の第4回の実技講習の様子が2025/6/26付日刊工業新聞に掲載された。・2024/12/1実施の「音楽を楽しもう2024」について、越生町、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、鳩山町及び毛呂山町の自治体の広報誌に情報が掲載された。・2025/3/22実施の「ちはやふる～はじめての百人一首～」について、和光市広報(広報わこう2月号)に情報が掲載された。 【地域交流委員会】・2024/10/29に東松山市公式Facebookにて「東松山市クリーン活動」（2024/10/26）の様子が掲載された。 ・2024年11月号「広報にいざ」（2024/10/25発行）に、「親子野球体験イベント」（2024/12/14）の告知が掲載された。 【TJUP主催】「TJUPわくわくランド2024」（2025/3/22）について、川越市・川島町・坂戸市・日高市、狭山市、毛呂山町、鳩山町の計7自治体への広報誌(3月発行号)の掲載、川越市、ふじみ野市、鶴ヶ島市の3自治体にてSNSによる宣伝、「いこーよ」サイトでの掲載、埼玉県生涯学習ステーションでの掲載による広報がされた。あわせて、2025/5/21/付埼玉新聞にて開催の様子が掲載された。 以上により、合計23回広報誌等に掲載された。	100%	100%	
		(1)－6	人事交流制度の整備と実施		人事交流の企画又は実施	年1件以上	①駿河台大学と飯能市で実施(2025/9/1～2026/3/31) ②東京電機大学と城西大学で実施(2025/9/1～2026/3/31) ③日本医療科学大学と城西大学で実施(2025/9/1～2026/3/31) ④東京電機大学と日本工業大学で実施(2024/4/1～2025/3/31) ⑤大東文化大学と伊田テクノス株式会で企画(2025/11/1～2025/11/30) ⑥大東文化大学と日本医療科学大学で企画(2026/6/1～2026/11/30)。 以上により合計6件となり、人事交流が推進した。	100%	100%	

課題	達成目標	No	活動施策	関連委員会等	活動指標	目標値	実績および評価・改善項目	到達率(%)	全体会評価欄	監事評価欄
		(1)－7	TJUP主催、各委員会主催の共同FD・SD活動の実施	幹事会、運営協議会、各委員会、各グループ・チーム	TJUP、各委員会主催のFD・SD活動の回数	TJUP全体、各委員会で年1回以上（ホームページに公表）	【TJUP主催】「大学・短期大学教職員のFD・SD研修プログラム」オンデマンドにて12講座を実施した。 【教育連携委員会】TJUP教育連携委員会共同FD・SD「大学・短期大学教職員のFD・SD研修プログラム～AIの利活用と注意点～」(2025/3/25)を実施した。 【地域交流委員会】共同FD・SD「災害時のリスクマネジメントについて考える～地域が大学・学生に期待すること～」(2025/9/11)を実施した。 【学生イベント交流委員会】共同FD・SD「学生主体の探索的なコミュニケーション教育―専門教育と教員・学生間コミュニケーションを融合させた各大学の教育活動から考える―」(2025/9/5)を実施した。 【キャリア支援委員会】TJUP共同SD「若者のリアルな声から学ぶ！就職活動のトレンドや学生の価値観」(2024/10/4)を実施し、会員校の職員27名が参加。 以上により、TJUP主催12講座、各委員会で1回実施した。	100%	100%	
		(1)－8	TJUP事業運営体制の新展開（法人化へ向けた検討）	法人設置検討部会(2025年6月から幹事会)	運営協議会等における審議回数	年4回以上審議	第62回運営協議会および第11回全体会（2024/10/25）にて、「法人設置に関する意向調査」の結果報告がなされた。第71回幹事会（2025/6/19）にて今後の検討体制について審議し、第71回運営協議会（2025/7/25）にて、法人化に向けた検討は幹事会にて継続して行うことを審議、承認された。第74回幹事会（2025/9/11）にて、今後の検討は会員校だけでなく、自治体会員、事業者等会員にも協力いただくことを審議承認し、第73回運営協議会（2025/9/19）にて報告した。 以上により、運営協議会等の審議は3回、報告が3回行われたが、実質的な審議は10月以降の予定である。	80%	80%	
(2) 基盤となる取り組み（共同事業）の推進	■自治体・企業等との協議も踏まえ、TJUPの重要なステークホルダーである会員校の学生・教職員や、地域住民等を対象とした共同事業を推進する	(2)－1	教育連携に関する懇談会の開催	教育連携委員会	懇談会の開催回数	年1回以上開催	【教育連携委員会】TJUP教育連携懇談会「TJUP教育連携フォーラム2025」（2025/7/29）を開催し、自治体会員・事業者等会員と活性化対象地域の課題について意見交換・情報交換を行った。参加自治体、企業は、川島町教育委員会、坂戸市教育委員会、鶴ヶ島市教育委員会、鳩山町教育委員会、東松山市教育委員会、東松山市立神明小学校、日高市、毛呂山町教育委員会、吉見町教育委員会、一財）リモート・センシング技術センター衛星観測事業部、埼玉県川越比企地域振興センター東松山事務所、まなびしごとLAB。第一部で研修会「小・中学校における「やさしい日本語」講習」を、第二部で懇談会「TJUPに期待する小・中学校への教育支援」をそれぞれ実施した。	100%	100%	全体会評価が(妥当)妥当でない(%)【意見】自治体・企業等との協議も踏まえ、会員校の学生・教職員や、地域住民等を対象とした共同事業を推進し、目標値を達成しており〈単位互換制度は除く〉、評価は妥当と考える。一方、単位互換制度に加え、合同の大学入試説明会、外国人留学生を対象とした合同の大学入試説明会の参加者数が少なく、TJUPの認知度向上の課題とあわせて、対応策の検討が必要である。学生の交流活動の実施については、学生ボランティア座談会において、他の会員校の学生と本音で議論する機会を提供し、貴重な交流の場となったことを評価したい。
		(2)－2	TJUP参加大学入試説明会の実施	学生募集活動推進グループ	合同の大学入試説明会の開催回数	年1回以上開催	担当者会議をオンライン（ZOOM）(2025/6/10)にて実施し、今年度の取り組みについて決定した。オンライン（ZOOM等）にて入試説明(2025/7/29)を実施し、高校生1名の申込みがあったが、参加者は0名であった。次年度に向けては、オンラインにて打合せを実施する予定。次年度は、参加者を増加させる改善策の検討の他、分野別ではなく大学別の説明会に戻すことも含め検討する。以上のことから対象期間内に1回開催となった。	100%	100%	
		(2)－3	TJUP参加大学外国人留学生対象の入試説明会の実施	学生募集活動推進グループ等	外国人留学生を対象とした合同の大学入試説明会の開催回数	年1回以上開催	担当者会議をオンライン（ZOOM）(2025/6/10)にて実施し、今年度の取り組みについて決定した。オンライン（ZOOM等）にて外国人留学生対象説明会(2025/7/29)を実施し、外国人留学生3名と日本語学校教員1名の計4名の参加者があった。今後、次年度に向けて打合せを実施予定である。以上のことから対象期間内に1回開催となった。	100%	100%	
		(2)－4	公開講座の開設		共同の公開講座の開設数	年間10講座以上	対面講座、オンライン講座およびオンデマンド講座を18講座実施した。今後も、受講者からのアンケート等を参考に、公開講座の実施を推進していく。	100%	100%	
		(2)－5	単位互換制度の実施	単位互換担当者ワーキンググループ	年間受講者数	5名以上	2024年度後期94科目、2025年度前期85科目の開講があり、単位互換の利用者は2024年度後期は0名、2025年度前期は3名であった。利用者増を図るにはオンライン授業の活用および充実が望ましいことがうかがえる。	60%	60%	
		(2)－6	リスクマネジメントに関する地域との懇談会等の実施	地域交流委員会	リスクマネジメントに関する地域との懇談会、各種取り組みの実施回数	年1回以上開催	【地域交流委員会】地域交流委員会共同FD・SD「災害時のリスクマネジメントについて考える～地域が大学・学生に期待すること～」(2025/9/11)を実施し、41名のTJUP学生教職員、自治体会員、事業者等会員が参加した。 第1部は防災・減災・リスクマネジメントに関する基調講演を立正大学が行い、第2部は「地域のリスクマネジメントにおいて大学が貢献できる役割」をテーマにパネルディスカッションを実施し、熊谷市民活動支援センター、大東文化大学防災研究同好会「STERA」、立正大学学生団体「つむつむ」、十文字学園女子大学による事例報告のあと、意見交換を行った。	100%	100%	

課題	達成目標	No	活動施策	関連委員会等	活動指標	目標値	実績および評価・改善項目	到達率(%)	全体会評価欄	監事評価欄
		(2)－7	共同研究の活性化と推進		共同研究のプロジェクト数	年5件以上	評価期間内の実績は、会員校間でのプロジェクト数が9件、会員校と事業者等会員でのプロジェクト数が3件で、合計12件実施した。なお、第73回運営協議会（2025/9/19）にて、各研究の概要と自己点検の説明および共同研究のニーズやシーズに係る意見交換等、共同研究の更なる活性化に向けての議論を行い、今後も共同研究を推進することを承認した。	100%	100%	
		(2)－8	教育・研究施設の共同利用の推進		教育・研究施設の共同利用数	年5件以上	評価期間内における会員校間で教育・研究目的のため共同利用している施設・設備は15件である。大学等間の有効な連携の一つとして、引き続き共同利用を推進していく。	100%	100%	
		(2)－9	学生の交流活動（イベント・交流会等）の実施	学生イベント交流委員会	学生の交流活動の実施件数	年2事業以上	・「音楽を通したコミュニケーション～みんなで楽器演奏等の体験を共有してみよう～」(2024/10/19)を実施した。参加は学生5名 教職員5名 東邦音楽大学学生ボランティア2名。音楽に合わせた「身体活動」を展開して、心身の発散を促した。評価シートを始める前と後では、音楽体験によって心身がポジティブな状態に変化することが報告された。・「TJUP会員対抗モルック競技大会」(2024/11/9)を実施した。参加は学生22名 教職員5名 日本モルック協会指導員1名。全12チームで優勝を争い、順位決定戦も行ったため、白熱した戦いとなった。初心者もルールを修得し、学生間交流も図られ事業目的を達成することができた。学生主体の実施については、来年度の改善点である。・学生ボランティア座談会2025「集まれ学生ボランティア～語ろう、つながろう、次への第一歩～」(2025/8/27)を実施した。学生が本音を出し合い議論する中で、多角的な視点や価値観を知る機会となった。	100%	100%	
(3) 社会に向けた高度教育の提供	■自治体・企業等との連携を含めた教育プログラムを開発する	(3)－1	自治体および企業における社会人教育・専門教育のニーズ調査	教育連携委員会	自治体、企業との協議回数	年2回以上（アンケート調査等も含む）	社会人対象教育プログラム2025実施にあたり、事業者等会員と協議（2025/2/18と5/8）し「電動アクチュエータ」講座開講を決定。また、電動アクチュエータ受講者を対象にニーズ調査を実施（2025/6/13）した。TJUP教育連携懇談会【TJUP教育連携フォーラム2025】（2025/7/29）での意見交換の結果、自治体会員・事業者等会員・大学等会員で構成する「検討チーム(仮称)」を発足させ、小・中学校教諭(社会人)への具体的な支援内容(含むニーズ把握とその対応)を検討することになった。	100%	100%	全体会評価が(妥当) 妥当でない(%) 【意見】 社会人教育における大学間連携の検討において、昨期は担当教員を含めた検討会を実施できていなかったが、今期は小・中学校教諭(社会人)向け教育プログラムの構築および現職者対象(社会人)講座の展開について、担当教員を含めて検討を行い、目標を達成している。また、共同科目設置を目指した科目研究の実施においても、昨期実施できていなかった担当教員による科目研究会を実施しており、社会に向けた高度教育の提供の実現へ、大きく前進したことを評価したい。今後の教育プログラムの開発に期待している。
		(3)－2	社会人教育における大学間連携の検討	教育連携委員会	担当教員（仮を含む）を含めた検討会の実施	2024年度は準備期間とし年1回、以降は年2回以上	会員大学等教員・自治体会員・事業者等会員でTJUP共同科目化を検討している「やさしい日本語」のカスタマイズによる小・中学校教諭(社会人)向け教育プログラムの構築について、TJUP教育連携懇談会「TJUP教育連携フォーラム2025」(2025/7/29)にて検討した。 また、教育連携委員会（2025/3/21）において、TJUP看護系学部学科間の共同科目化の研究(例「チーム医療」)の応用としての関係教員を含めて現職者対象(社会人)講座の展開を議論し、検討を進めている。 上記の取組については、すでに教育連携委員会（2025/5/56）において、関係教員との協議しキックオフを行い「検討チーム(仮称)」及び現在調整中の実働チームの稼働を第8期前半(2025年度内)に予定している。	100%	100%	
		(3)－3	共同科目設置を目指した科目研究の実施	教育連携委員会	担当教員による科目研究会の実施	年2科目以上	教育連携委員会会員校の設置する学部・学科の重なりが多い「看護学科」の担当教員を中心に、共同科目設置を目指した科目研究会のキックオフ会議（2025/3/21）を実施した。第7期では、科目研究会の方向性として「TJUP看護系学部学科間の共同科目(例「チーム医療」)」と「やさしい日本語」の2つを軸とすることで、委員会内において検討を進めた。 ・関係教員と協議（2025/5/26）	100%	100%	
(4) 新しい地域づくりの推進	■生活しやすい地域づくりを推進する ■地域産業の活性化を推進する	(4)－1	地域イベントへの学生・教職員の派遣	地域交流委員会、学生イベント交流委員会	地域イベントへの学生・教職員の派遣人数	年150名以上	【地域交流委員会】吉見町かけこ教室（長距離編）(2024/10/20)を実施し、運営補助として16名の派遣を行った。日本スリーデーマーチに向けた「東松山市クリーン活動」(2024/10/26)を実施し、54名のTJUP学生教職員、自治体会員、事業者等会員がウォーキングをしながら地域の美化活動を行った。「親子野球体験イベント(2024/12/14)を実施し、21名のTJUP学生教職員が運営補助を行った。 【学生イベント交流委員会】「音楽を通したコミュニケーション～みんなで楽器演奏等の体験を共有してみよう～」(2024/10/19)を開催。学生5名 教職員5名 東邦音楽大学学生ボランティア2名 計12名参加。「TJUP会員対抗モルック競技大会」(2024/11/9)を開催。学生22名 教職員5名 計27名派遣 【ツナグちゃんチーム】「ツナグちゃん着ぐるみお披露目会&元氣出してよミニライブ」(2025/7/26)において、TJUP会員校学生3名、教職員4名を派遣した。 以上により、合計137名の派遣があった。	90%	90%	全体会評価が妥当・(妥当でない) 100 %) 【意見】 地域イベントへの学生・教職員の派遣については、昨期と同様にTJUPわくわくランドへの運営スタッフ〈教職員・学生112名〉を含めて100%の評価としたい。しかしながら、他のイベントも含め、何をもって地域イベントへの派遣とするのか判断に困難さを感じた。地域企業、自治体等との連携による各種セミナーの実施については、例年実施している業界セミナーに加え、実践型ビジネス講座を実施し、昨期達成できなかった目標を達成したことについて評価したい。一方、業界セミナーの参加者が115名から23名に減少したことは、課題としてあげられる。同じく、TJUP長期インターンシップについても参加者数が減少している。新しい地域づくりの推進に向けて、学生の参加が重要と考えるが、TJUPのイベント全体を通じて、学生参加者の募集が厳しくなっている印象を受ける。原因の分析と対策の実施に期待する。

課題	達成目標	No	活動施策	関連委員会等	活動指標	目標値	実績および評価・改善項目	到達率(%)	全体会評価欄	監事評価欄
		(4)－2	健康増進事業の実施	地域交流委員会、 学生イベント交流委員会	健康増進事業の実施件数	年1事業以上	【地域交流委員会】開催日設定の関係で、第7期の達成率は0%となるが、TJUP会員自治体である吉見町および川島町との共催で、健康増進を目的とした公開講座「よりよい健康生活をめざして」(2025/11/7～8)を開催予定である。11/7は「ボールを使って歩いてみよう!」11/8は「ここからだを健康に!～初心者向けマインドフルネス～」の講座を実施する。両日とも武蔵丘短期大学を会場に、対面形式で行う。 【学生イベント交流委員会】日本医療科学大学において、「ケア・トランポリン&電動車いす体験講座～体験しよう!福祉の世界～」(2025/8/23)を実施し、リハビリテーションの観点より、会員校の学生が福祉機器等の指導体験を通して交流を図ると共に、地域の小学生への指導を実施。併せて、健康増進の運動として、ケア・トランポリンについての学びを実践した。(参加学生15名　参加小学生19名　スタッフ15名) 以上により、第7期において1事業実施した。	100%	100%	
		(4)－3	地域企業、自治体等との連携による各種セミナーの実施	キャリア支援委員会	地域企業、自治体等との連携による各種セミナーの実施件数	年2事業以上	【キャリア支援委員会】・第8回業界セミナー「オンライン合同企業フェア」(2025/6/25) (運営責任校：駿河台大学)を実施し、事業者等会員を含む企業23社、学生延べ39名が参加。 ・実践型ビジネス講座「ベルクアカデミー」(2025/8～9　全3回) (運営責任校：城西短期大学)を事業者等会員の㈱ベルク本社で実施し、学生18名が修了。	100%	100%	
		(4)－4	地域企業、自治体との連携によるインターンシップの実施	キャリア支援委員会	地域企業、自治体等との連携によるインターンシップの実施件数	年1事業以上	【キャリア支援委員会】・「TJUP長期インターンシップ2024」(2025/2～3) (運営責任校：埼玉女子短期大学)を実施し、事業者等会員3社に対して4名の学生が参加。	100%	100%	
		(4)－5	活性化対象地域における高等教育のグランドデザインに関する検討の実施	幹事会	幹事会での検討回数	年1回以上	「2040年の展望と高等教育が目指すべき姿―高等教育と社会の関係　自治体・企業・大学・市民の連携協働からTJUPの可能性を考える」をテーマにグランドデザイン検討会(2025/3/27)をオンラインにて実施し意見交換を行った。参加者数30名。	100%	100%	